証券コード:1951

EXEO REPORT

2019年度（2020年3月期）第2四半期

株式会社 協和エクシオ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

また、豪雨、台風などの自然災害により被災された皆様に心よりお見舞い申しあげるとともに、一日も早い復旧、復興をお祈り申しあげます。

さて、ここに当社グループの2019年度（2020年3月期）第2四半期連結累計業績の概要についてご報告申しあげます。

2019年度（2020年3月期）の第2四半期連結累計業績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の深刻化や海外経済の減速など不安定な国際情勢を背景に先行き不透明な状況にあるものの、当社グループ事業に関連する情報通信分野におきましては、IoTの普及やAIなどの最新テクノロジーの広がりを追い風に、ビッグデータを収集・分析するビジネスが急成長するなどICT投資は増加基調にあり、各通信キャリアにおいても5G商用サービスに向けた基地局の設置が前倒しで始まるなど、堅調な設備投資が続いております。

また、建設分野におきましては、都市の再開発や東京オリンピック開催に向けてホテルの建設などが続いているほか、公共投資も引き続き高水準で推移しました。

このような環境下において、当社グループ主力の通信キャリア事業は、固定通信・モバイル通信工事ともに受注が好調に推移し、成長事業に位置付ける都市インフラ事業とシステムソリューション事業は、電気・公共施設・新規参入分野の大型工事を複数受注したほか、教育機関等へのソリューションビジネスなどが順調であり、M&AによるAPAC地域におけるグローバルビジネスの拡大にも注力しました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は2,851億5千万円（前年同期比163.1%）、完成工事高は2,123億2百万円（前年同期比159.8%）となりました。損益面につきましては、営業利益は107億6千6百万円（前年同期比125.9%）、経常利益は106億5千8百万円（前年同期比119.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億7千5百万円（前期比106.4%）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は、次のとおりであります。

（協和エクシオグループの概況）

通信キャリア事業におきましては、ラグビーW杯の試合会場となったスタジアムでの5Gプレサービス提供のためのモバイル工事を受注するなど、5G関連の受注が始まり好調なほか、台風15号によって被災した地域の通信設備の復旧などに尽力しました。都市インフラ事業におきましては、太陽光発電施設工事の大型案件を受注したほか、全国の空港や高速道路の電気通信工事に取り組みました。システムソリューション事業におきましては、豊田スタジアムのIoTプラットフォームを導入したピッチ照明改修工事を手掛けたほか、BPMビジネス等に強みを持つ会社をグループ化するなど、新たなソリューション分野の拡大に努めました。

（シーキューブグループの概況）

企業や公共機関におけるWindows10への切替案件や、消費増税に伴うシステム改修案件等の増加によりシステムソリューション事業の売上が拡大し、NCC分野では3.5GHz、700MHz帯の無線基地局工事だけでなく、1.7GHz帯の無線基地局新設工事が堅調に推移し、通信キャリア事業の売上も増加しました。

（西部電気工業グループの概況）

通信キャリア事業におきましては、主要顧客の固定通信関連における光開通工事などが堅調に推移し、都市インフラ事業におきましては、新築ビル等の電気設備工事などに取り組んだほか、大型の太陽光発電施設工事を受注するなど好調に推移しました。

（日本電通グループの概況）

都市インフラ事業・システムソリューション事業におきましては、高速道路や国道の通信設備工事、学校等教育施設へのPC導入案件などの受注が好調に推移し、通信キャリア事業におきましては、4G無線基地局工事の受注などが順調に推移しました。

代表取締役社長　船橋 哲也

決算ハイライト

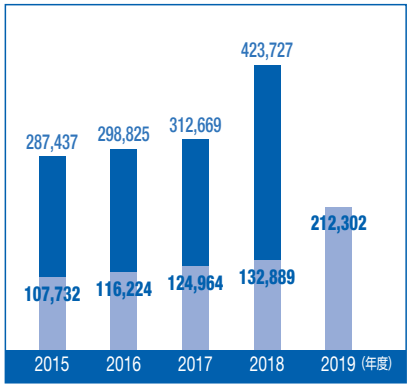
詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧下さい。
http://www.exeo.co.jp/ir/index.html　協和エクシオ　IR　検索

2019年度（2020年3月期）第2四半期連結累計業績

受注高	2,851 億円	前年同期比	163%
売上高	2,123 億円	前年同期比	160%
営業利益	107 億円	前年同期比	126%
親会社株主に帰属する四半期純利益	62 億円	前年同期比	106%

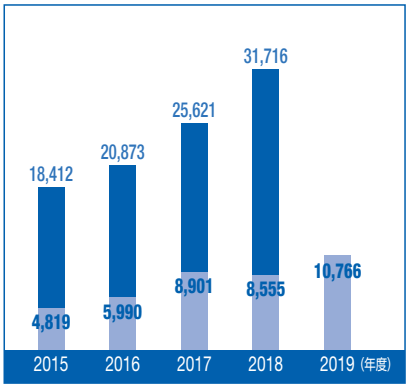
売上高

212,302 百万円



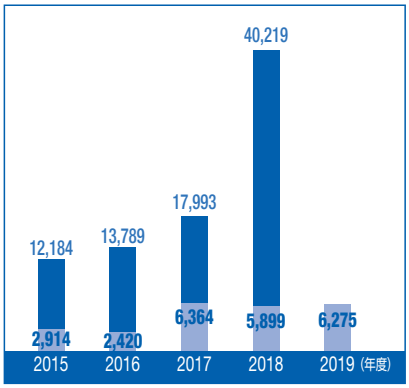
営業利益

10,766 百万円



純利益

6,275 百万円



セグメント別状況

協和エクシオグループ

受注高	1,983億円	前年同期比	114%
売上高	1,409億円	前年同期比	106%

シーキューブグループ

受注高	344億円	前年同期比	112%
売上高	318億円	前年同期比	110%

西部電気工業グループ

受注高	326億円	前年同期比	111%
売上高	236億円	前年同期比	103%

日本電通グループ

受注高	205億円	前年同期比	126%
売上高	174億円	前年同期比	113%

注1 2019年３月期第３四半期連結会計期間より、経営統合に伴い、従来の「エンジニアリングソリューション」、「システムソリューション」のサービス別セグメント区分から、企業グループ別セグメント区分に変更しております。
注2 セグメントにおける協和エクシオグループには、シーキューブグループ、西部電気工業グループ、日本電通グループは含んでおりません。

トピックス 1

情報通信配線技術フォーラム2019にて世界新記録を樹立

2019年4月5日、スピード競技の「World Optical Fiber Skills Challenge」に当社海老原徹社員が17分53秒で世界新記録を樹立しました。（従来の記録は当社太田卓也社員の18分39秒）

トピックス 2

根本匠厚生労働大臣が当社の中央技術研修センタを視察

2019年7月5日、厚生労働省の根本匠大臣が当社中央技術研修センタ（埼玉県和光市）を訪問され、センタ内の各施設や訓練の様子を視察されるとともに、2017年にUAE・アブダビで開催された第44回技能五輪国際大会の情報ネットワーク施工職種の金メダリスト清水義晃社員との対談も実施されました。

トピックス 3

積極的なM&Aでさらなる成長を目指す

2019年上半期、さらなる業容拡大を目的として積極的なM&Aを行ってまいりました。

通信インフラ分野では、北海道内で幅広い顧客基盤を有する北第百通信電気、都市インフラ分野では福岡を中心に空調・衛生設備工事を手掛ける永和ビルテックおよび永和メンテナンス、システムソリューション分野では、BPM、RPAおよび健診システムに強みを持つサン・プラニング・システムズを新たにグループ化しソリューションビジネスの拡大を加速してまいります。

会社概要 (2019年9月30日現在)

商　　号	株式会社 協和エクシオ KYOWA EXEO CORPORATION
設　　立	1954年（昭和29年）5月17日
資 本 金	68億8千8百万円
従業員数	連結 13,714名/単独 4,043名
本　　社	東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号
西日本本社	大阪府大阪市中央区内本町二丁目2番10号
事 業 所	支店：13　　営業所：21

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長	小園　文典	取　締　役	熊本　敏彦
代表取締役社長	舩橋　哲也	取　締　役	上　敏郎
取締役専務執行役員	松坂　吉章	取　締　役	金澤　一輝
取締役専務執行役員	戸谷　典嗣	取　締　役	小原　靖史
取締役常務執行役員	大坪　康郎	取　締　役	岩﨑　尚子
取締役常務執行役員	黒澤　友博	常勤監査役	滝澤　芳春
取締役常務執行役員	光山　由一	常勤監査役	佐藤　和夫
取締役常務執行役員	樋口　秀男	監　査　役	目黒　高三
取　締　役	作山　裕樹	監　査　役	荒牧　知子
取　締　役	久保園浩明		

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式総数	117,812,419株
株主数	20,993名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	15,800	14.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7,565	6.75
協和エクシオ従業員持株会	3,923	3.50
住友生命保険相互会社	2,296	2.05
住友不動産株式会社	2,081	1.86
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	2,040	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	1,852	1.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・三井住友信託退給口	1,834	1.64
JP MORGAN CHASE BANK 385151	1,671	1.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（三井住友信託銀行再信託分・住友電気工業株式会社退職給付信託口）	1,500	1.34

(注) 当社は、自己株式を5,678千株保有しておりますが、上記の表には含めておりません。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
〈郵便物送付先〉	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
〈電話照会先〉	0120-782-031
〈インターネットホームページURL〉	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告（http://www.exeo.co.jp） ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載。
株主優待	毎年３月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された**1,000株以上保有**の株主様を対象にクオカードを贈呈いたします。 **●保有継続期間3年未満：1,000円相当** **●保有継続期間3年以上：2,000円相当** ※保有継続期間の認定は、3月末日を基準とさせていただきます。 ※発送時期は、毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬とさせていただきます。

単元（100株）未満株式の買取・買増請求のご案内について

単元未満株式につきましては、市場で売買することができませんが、次のいずれかを利用して整理していただくことができます。

【単元未満株式の買取請求】

当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取を請求することができます。

【単元未満株式の買増請求】

当社に対して、単元株式に不足する株式数の市場価格による買増しを請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて100株にすることができます。

単元未満株式買取・買増請求の手続につきましては、下記の電話照会先にお問い合わせください。

0120-782-031

株式会社 協和エクシオ
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号
TEL.03-5778-1111（代表） http://www.exeo.co.jp

VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
UD FONT by MORISAWA 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。